

平成21年5月1日作成

長野南高等学校

一学年会

「地域に出て、地域に学ぶ学習〔長野南高校一学年 地域学習〕」まとめ

1. 学習目標

(1) 『生きる力(日常生活における様々な場面で適切な行為を自分で選択して実行できること)』を培うために、自ら進んで社会に出て何かを体験し、自ら考えることの大切さを学ぶ。

・ 活動を通して、自ら企画し実行する力、他者とのコミュニケーション能力、他者を尊重する態度などを養う。

・ 地域の人たちと積極的に交わる中で、『仕事』に対する情熱や責任、厳しさや楽しさなどを学び、自分の将来のあり方、生き方を考える。

(2) 自分が通学している学校の地域を知り、地域の方々に学校を知っていただく。

・ 活動中の一人ひとりの言動を通じて、本校のよさとその必要性を地域にアピールする。

・ 学校が置かれている地域と交流を持つことにより、この地域及び本校について考えるきっかけとする。

2. 活動内容の説明

長野南高校では、総合的な学習の時間の一環として、地域に出て学ぶ学習をおこなっています。総合的な学習の時間の目標は『生きる力を育てる』となっていますが、この『生きる力』とは、日常生活における様々な場面で適切な行為を自分で選択して実行できることを指しています。我々の日常生活において、選択して実行する場面がだんだん少なくなり、選択しなくても、つまり物を考えなくても済んでしまう場面が多くなっています。残念ながら、そのような生活の中では『生きる力』がなかなか育ちません。

『生きる力』を育てるためには二つの方法があると本校では考えています。一つは、学校教育における各教科の学習に対して主体的に取り組むこと。もう一つは、社会生活の中で自ら進んで何かを体験し、自ら考えるということです。これまでの取り組みでも、地域に積極的に出て地域の方々と交わる中で、『生きる』ということを実感することができた事例が数多くありました。また、地域の方々に学校を知っていただくことで、地域の方々に生徒を育てていただくこともできるという効果もありました。

一学年では5年目に入るこの活動を、継続性が必要だと反省から、1日だけでなく年間を通じて行うこととしました。3月末までの間に受け入れ先の希望を考慮しながら授業日以外に活動日を4日あるいは16時間以上設定し活動し、これまでの学年が実施し、大きな成果を挙げることができたこの活動をさらに発展させ、地域の方に喜ばれ、期待される活動へと推し進めるべく、学習を重ねました。

3. 学習の進め方

- (1) 同じ活動を希望する者同士で班を構成し、以下の項目を決める。
コミュニケーションをとる手段として何をしたいかを決める。
その手段を活かせる活動場所（福祉施設、幼稚園、保育園、児童館など）の候補の決定
- (2) 班ごと対象活動場所へ連絡を取り趣旨（何をしたいかも含めて）を説明した上で受け入れの可否を伺う。もし受け入れが不可能な場合、第二希望以下の活動場所へ回る。
- (3) 受け入れ先へ連絡し、事前打ち合わせの日時を決め、出向いて詳細を打ち合わせる。
- (4) 3月末までに規定の時間をこなす。
- (5) 活動内容は、報告書としてその都度報告し、まとめを2年次4月に発表会をおこなう。また、受け入れ施設への礼状を書き、受け入れ施設へ届ける。
- (6) 一つの活動が終了したら更に継続するか、新たな活動に移る。
- (7) 今回の活動をきっかけに、さらに地域活動を進めよう、活動の継続を促す。

4. 活動実施場所一覧

本年度はお忙しい中、次の60の施設及び諸行事で快く受け入れていただきました。
この場を借りて深く感謝いたします。

長野市

ふれあい祭り、チャリティーバザー、もんぜんプラザ、コスモス長野、やすらぎの園、サンピラかわなかじま、松心館、ケアハウス南長野、インターコート藤、サンリング、ふれあい荘、ノーマライズ、三本柳児童館、下氷鉋児童センター、青木島保育園、下氷鉋保育園、杉の子第三保育園、安茂里保育園、川中島保育園、大橋保育園、フレンド保育園、ころぼっくる保育園、長丘保育園、下氷鉋小学校、更府小学校、篠ノ井西小学校、長野駅駐輪場、祝神社、犀川河川敷、川中島古戦場、若里公園、南長野運動公園、南団地公園、川中島体育館、安茂里少年グラウンド、長野科学センター、茶臼山動物園、長野市立図書館、信州美容院、助産所ほやほや、厚生連篠ノ井総合病院、よもぎ亭

千曲市

科野の里、治田の里、高砂、稲荷山デイサービスセンター、チューリップの家、東部公民館、八幡公民館、上山田児童館、五加保育園、八幡小学校、埴生中学校、戸倉上山田中学校、更埴図書館、あんずホール、千曲川河川敷、セブンイレブン上山田店

その他の地域

さざなみ荘

5. 本年度の取り組みの特徴と今後の課題

- ・ 今年度は継続性や相手の都合に合わせることを考え、特定の日時ではなく3月を中心に10月から実施することができました。また何をするかを決めてから交渉にはいるようにし、何かさせてくださいという頼み方にならないよう指導した。意欲的かつ自主性

のある生徒から活動を開始したため、これが見本となり、積極的な活動になっているように見える。ただし、活動の場所選びを生徒に任せ、かつ長期間にわたるため、報告書が出るまで把握しづらい面があった。

- ・ 特定の活動日を設定しなかったため、先方と都合の良い日を協議するなど、コミュニケーションを例年以上にはかることができた。
- ・ 活動日を4日以上あるいは16時間に増やしたことで一定の継続活動ができた。
- ・ 活動の経験が進路希望に結びつく生徒も出ている。
- ・ 数が多く（活動場所60カ所・活動のべ人数およそ800人）生徒の動きを掌握しきれずに受け入れ先に迷惑をかけたこともあろうかと思われる。
- ・ ご迷惑をおかけしたことをお詫びすると共に今後も生徒を地域の力で育てて頂きたくお願い申し上げます。

6. 生徒の感想

(1) 老人福祉施設

私は、コスモス長野老人ホームに行ってきました。最初の簿ランティアの仕事は、老人10人位を一人で相手をするものでした。歌を歌ったりお手玉をしたりお話をしました。いきなり一人で老人の方の相手をするのは凄くきつかったです。それでも、顔には出さずに笑顔でがんばりました。その時に、一人のおばあちゃんに「ひとりでよく頑張ったね。」と一言言ってもらえて、頑張ってよかったと思いました。それから介護士さんの仕事を手伝いました。内容は、季節のポスターの塗り絵や各部屋のベッド拭きをしました。ベッド拭きの時たくさんの方から話しかけていただき、「ありがとうね。」と言って頂きました。このボランティアを通して、いろいろな人に頼られるのは嬉しくて、自分も相手のことを思いやるのが大切だと学びました。これから将来に役立てば良いなと思います。

(2) 図書館施設

実際の企業で働いてみると、社会の厳しさがよく分かった。また、図書館はとても静かで、さまざまな年齢の方々が利用していた。ほとんどが、パソコンの操作で、大きなミスは許されなかったのでとても緊張した。図書館の裏側では、市内の小、中学校や県立図書館、国立図書館などとも繋がっているパソコンがあった。このパソコンは図書館の「心臓部」とも言われる部分で、とても重要な役割をしていた。図書館は地域の方々への気遣いも大切だということを知った。貸し出しカードを受け取る時も、返す時も両手で返すことが相手への礼儀であることを学んだ。

(3) ゴミ拾い

運動公園は人の出入りが多いため、落ちているゴミも多かった。公園内をきれいにしても、一週間とたたずに元に戻っているときもあった。特に、タバコの吸殻が多く落ちてお

り駐車場が一番ひどかった。また、公園内の池や川にはビニールやカゴのような大きなゴミなども捨ててあり、ぬれているために拾うのに苦労した。そして、その拾ったゴミを最後に分別するのが大変だった。今回、南長野運動公園という大きな施設のゴミ拾いをしたことで、ポイ捨てのマナーの悪さ、そしてそれを拾う人たちの大変さがよくわかった。これからはそのことを考えてポイ捨てをせず、ゴミはしっかり分別をして捨てようと思った。

(4) 病院

篠ノ井厚生連はいろいろな病棟があって、とても清潔感があり広くきれいでした。入院している患者さんも沢山いて、看護師さんたちは午前中から忙しく病棟を訪ねていました。お手伝いは、ベッドの周りを拭いたり、シーツを替えたりガーゼやタオルたたみなど、細かい仕事をしました。その細かいことでも看護師さんは手際よくやっていてとても参考になりました。ほかに、看護師さんも患者さんへの接し方などで、見ているだけで沢山のことを学べました。特に、理学療法の仕事はあまり見たことがなかったので見学できて興味をもてました。患者さんを元気付ける力に直接なれるのでいい仕事棚だなと思いました。空いている時間には患者さんと直接お話ししたりビデオを見たり楽しくできました。4日間だけでしたがたくさん学べていい経験になりました。

(5) 動物園

仕事の内容は、普段飼育員の人が行っていることと同じ仕事をしました。動物の部屋の掃除、えさ作りなど初めて行う仕事ばかりで、最初はわからないことが沢山あって大変だったけれどだんだん慣れてきて、順序良くできるようになりました。どれも「簡単な仕事ではなかったけれどとても勉強になりました。

(6) ヘアーサロン・市民会館

チャリティーバザーでは、おばあちゃんたちと服などを売りました。古い服が多かったけれど安くしたりして沢山売れました。変なお客さんもいて怖かったけれどおばあちゃんたちは、やさしくてよかったです。いいお客さんもいて、少ししゃべったりできて楽しかったです。次に行ったヘアーサロンでは髪の毛の掃除などしました。お客さんのところを見てしっかりいうのが大変でした。また、ヘアスプレーなど並べ替えたりしました。お客さんとしゃべれて楽しかったです。

(7) 学校の掃除

2年生の箇所の掃除をやった。まず、ロッカーの裏を掃除した。あけてみると想像を超えるほど汚くてびっくりした。その時は面倒くさいのでやりたくなかったが、やってみると、汚かったところがきれいになっていくことがとても楽しくて自分でできる限りのことをした。中にはあまりやっていない人もいて、自分も前は同じだったのかと、自分のやっ

ていたことをとても恥ずかしいと思った。しっかりと掃除した後はなるべく汚したくないと思った。面倒で今まではほとんどやっていなかったけれどその分気づくことも多くて毎日掃除をもっと頑張ろうと思った。これはほかのことにもいえると思うからいままでやらなかったこともこれからはやろうと思う。

(8) 児童館

子どもたちはすごく元気で、元気なエネルギーをたくさんもらいました。元気すぎて疲れくらいでしたが、3日間すごく充実してとても楽しかったです。改めて「子どもが好き」ということを実感できた活動でした。

先生方は時には優しく、時には厳しく、子どもたちの揉め事もスムーズに解決していたのがすごく印象的でした。子どもたちが約束を守らないことがあり、先生が涙ながらに怒っていました。それだけ本気で、子どもたちが大切だということを感じました。

この仕事は子どもたちの命を預かっているので、とても責任のある仕事だと思いました。子どもが好きではないとできない仕事だと思います。

活動を通して、児童館は心身ともに成長できる場であり、同時に生半可な気持ちでは続かない仕事だと学ぶことができました。

(9) 少年科学センター

まずは朝礼から始まって、最初にボールプール整理をしました。結構力がいる作業で、大変でした。次に館内の見回りをしました。見回りでは展示室に置いてある機械の電源を入れたり、確認したりするのですが、機械の数も多くこの作業も大変でした。その後は映画案内と受付事務をしました。映画案内では、呼びかけをしたり入場者数を数えたり、終わりには後片付けなどをしました。受付事務では「いらっしゃいませ」などの声が最初はなかなか出せずに大変でした。

学んだことは、仕事というのは、すごく大変なことだということです。体験してみて、ここでは見回りや受付や案内などをして、その大変さを実感しました。けれども、ここで経験は大切なものになったと思います。